

【生徒の意見、提案など】	生徒からの質問	【市長の考えなど】	担当課
<p>【公共交通の改善】 現在、西尾市の1世帯あたりの乗用車維持台数は1.91台です。これは、全国の市町村で2位という状況で、交通渋滞が発生する原因のひとつでもあると思います。また、中心市街地を除く地域では、公共交通機関の整備が不十分な地域もあり、自動車移動に頼っています。身近な場所で考えてみると、福地中学校の前にある県道豊田一色線は、一部道路の幅も狭く、歩道もなく少し危険で、交通渋滞も発生しています。最近、学校の前で車同士の交通事故も起きました。私たち中学生も危険なため、遠回りして学校に通っています。</p>	<p>【質問1】 市内公共交通機関の整備として、福地、一色、吉良、幡豆など公共交通が不便な地域と中心市街地を結ぶ新しいバス路線の計画はありますか。</p> <p>【質問2】 名鉄電車の利用促進のため、パークアンドライドの取組みを市内で広げ、市民にPRしてはどうでしょうか。</p>	<p>【市長】 公共交通は、実は大きな課題のひとつです。西尾市は、自動車を保有している家庭がとても多いです。自動車を持っているならば正直生活するには困らないと思いますが、皆さんたちと同じように、まだ免許を取得できない人や高齢者の方々にとっては、電車やバスが非常に重要な移動手段になります。電車については、現在、西尾蒲郡線が廃線の危機となっていますが、西尾市としては何とか残したいと考えているので各種取り組みを行っています。バスについては、日常生活に大きく関わってきます。現在、バスも含め公共交通の見直しを行っています。</p>	地域支援協働課
<p>【提案1】 市内の公共交通機関の整備を進め、市民が自動車を使用する機会を減らす取り組みを考えてみました。福地や一色、吉良、幡豆地区のように公共交通が不便な地域に新しくバス路線を通し、中心市街地へ行けるようにすることです。そうすることで、人の移動がスムーズになり、観光客も訪れ、賑わいが増すと思います。</p>		<p>【市長】 くるりんバスと名鉄東部交通バスとでは、まず料金に違いがあるので、その格差をなくそうと考えています。また、走行するルートが重複している場所や全くバスが通っていない地域もありバランスが悪いため見直しを行っている最中です。今年度中には、市が考えている案をお示しできるかと思いません。今後は、中学校区または小学校区において、市民の皆さんに市が考える見直し案を説明させていただき、そこに住む市民の皆さんの意見等をお聴きする予定です。その後、いただいたご意見等をもとに見直し案の修正を行い、最終的な考えを示したいと思っています。西尾市の人口は17万人で、全ての皆さんが満足していただける案というのはとても難しいですが、今よりは便利になったと思っただけのようなバス路線を作りたいと思っています。</p>	
<p>【提案2】 公共交通機関の利用に対する市民の意識を高めるため、市民と一緒に、車に頼らないまちづくりやバスやタクシー会社と連携したまちづくりを考えるのも面白いと思います。</p>		<p>【市長】 パークアンドライドについては、JA福地支店の跡地に駐車場ができました。駐車場が広いので、名鉄福地駅を利用する方に、その一部分を月極で貸しています。市としてもパークアンドライドを推進したいと思っていますが、市が駐車場を作るということではなく、民間が作ったものに市が補助する形で推進していきたいと思っています。その具体的な例が、JA福地支店跡地です。福地以外の名鉄沿線の地域も同じような動きがでてくると理想的だと思っています。</p>	
<p>【提案3】 名鉄電車の利用促進を図るため、パークアンドライドの取組みを進めてはどうでしょうか。高校生や中学生が、登下校時に安全に移動するためには、歩道や自転車道の整備も進めて欲しいと思います。そこで、2つの質問をします。</p>			